

和華蘭の窓

和華蘭(わからん)とは日本・中国(東洋)・オランダ(西洋)がミックスした長崎独特の文化様式を表現する言葉です。



医学分館の増改築工事がはじまります

この号の内容

- | | 掲載ページ |
|-----------------------------------|--------|
| 森 望 附属図書館長 就任挨拶 | p. 2 |
| 増崎英明 医学分館長 就任挨拶 | p. 3 |
| 医学分館改修について | p. 4-5 |
| 附属図書館改修完成記念式典等 | p. 6-7 |
| 学長推薦図書 / 図ってって発行1周年 | p. 8 |
| NAOSITE / EJ等の学外からの利用 | p. 9 |
| 海外出張報告(図書情報担当 浦さやか) | p.10 |
| 本学関係寄贈図書 / 古写真出張展示 | p.11 |
| 前期試験 / 夏季休業期における
開館時間・休館日・長期貸出 | p.12 |



現在の医学分館の様子

建物の外観は34年前とほとんど変わらないが、北側を大きく成長したケヤキが覆い、年月の長さを感じることができる。

(2013年5月、医学部基礎棟3階より撮影)

附属図書館長就任のご挨拶

医歯薬学総合研究科教授 森 望

～長崎の知、今、新たに～

新旧交代

長崎大学附属図書館の中央図書館は、この春、ガラス張りの明るい新図書館として新たなスタートをきりました。旧図書館は昭和46年に建てられたものですが、それから40年余り長崎大学の文教地区の「知の中核」として延べ7万7千人の学生の勉学と教員の学術研究を支援して参りました。のびのびと学問をする、高い視点から物事を考える。それを象徴するかのように、旧図書館の入り口は斜めに階段を上った2階に配し、重厚感のある威風堂々とした建物でした。

しかし、長い歳月の中で、書庫は過密化し、勉学スペースもやや暗くなり、建物全体の老朽化は否めず、耐震補強の観点からも大改修が望まれていたものです。

2011.3.11の東日本大震災後の日本全国の建物の耐震性の見直しが進む中で、この中央図書館も平成23年度の補正予算により耐震補強と改修の計画が進められ、昨年度、前館長の姫野先生の指揮の下、新時代の図書館へ向けて大幅な改修工事が実施されました。こうして今ここに、明るく広い、また耐震性の面からも安心安全な新図書館として生まれ変わりました。平成の時代らしいガラス張りの建物ですが、バリアフリーやネット環境にも配慮し、新しい時代の学問の府の「知の中核」として再発進いたします。

文部科学省の関係者、片峰学長、姫野前館長はじめ、この全面改修に関わった大勢の関係者の方々に深く感謝申し上げます。

情報拠点

図書館は、古くは書物や図録を保存する場でしたが、単にそれらの図書を保管する場ではなく、そこに内蔵された情報を活用し、発信していく場でもあります。学生に図書資料を提供するだけでなく、勉学しやすい場でもなければなりません。質の良い蔵書の選別はもとより、知的啓発のためのいい環境を形づくる。「知の醸成」のための自学自習はもちろん、相互啓発的な「知の躍動」も見据えて、いわゆるラーニングコモンズのエリアを新たに整備しました。グループ学習室も、また各種イベントにも対応できるようギャラリーや多目的

ルームも配しました。以前からのパソコンエリアも拡充していきます。学生も教員も、また時には市民の方も含めて、大いに「知の交流」「知の発信」に活用していただけるよう願っています。

電子図書館としての整備を進めながらも、図書館本来の「本に囲まれた風景」も大切にしつつ、新たな長崎の知への拠点としての充実に努めます。



温故知新

長崎の知のルーツは、日本の長い鎖国時代、唯一世界に開かれた港としての「出島」に象徴されます。オランダとの交易の中から、西洋の地理や歴史書、科学書や医学書、それに付随するさまざまな知識の移入がありました。そこに、今日の長崎大学の躍進に通ずる独自の知のルーツがあります。長崎は新知識への窓であり、道の始まりでした。その歴史を誇りとし、長崎大学附属図書館はこれからも「長崎の知」を支え続けます。

知学創遊

この新図書館は「知の宝庫」であります、けっして知の貯蔵庫にはいたしません。意欲ある若者の、学生たちの「意識を磨く空間」としてあるのです。今、教育改革が叫ばれる中、図書館こそが学部の壁を取り除いた「知の交流」「知の融合」を可能とする空間なのです。昨今、とかく職業訓練校と化しつつある大学の中で、本来のアカデミズムに回帰すべく、図書館は「学問」を見据える岬、「教養」を育む林でなければなりません。本を留める場ではなく、情報の流れる場とします。

目指すのは「知・学・創・遊」。多少の遊び心をもちながらも、未来にチャレンジする叡智を育む空間となるよう図書館のスタッフとともに努力してまいります。

医学分館長就任のご挨拶

医歯薬学総合研究科教授 増崎 英明

私にとっての図書館

今年度から医学分館長に就任いたしました。産婦人科学教授を兼任しています。図書館には幼稚園児の頃から通いました。その頃は絵本が主でしたが、今でも覚えている絵本があります。小・中学生になると、学校の図書館では、おおよその本は読み尽くして、市立図書館に出入りしました。歴史の教科書に名前があるので簡単に読めるものと思い、『平治物語』を借りてきて、漢字ばかりの文章と内容の堅さに辟易した思い出があります。ませていたのかも知れません。高校生・大学生の頃は、むしろ図書館からは遠ざかって、自分の好きな本は自分で探すものだと思うようになりました。つまり、図書館ではなくて本屋さんに通うようになったのです。与えられた本ではなく、自ら探し出して読む本は、他人が書いたものでも「自分の本」として読むことができることに気がきました。大学を卒業すると、図書館はひとりで静かに過ごすための場所になりました。図書館は本を読むためだけの場所ではなく、その場所が与えてくれる雰囲気は、ひとりで考えをまとめるのに最適の場所でした。もちろん論文を書くのに必要な文献を調べるためにも図書館は役立ってくれました。

生命と文化の伝達

私たち人は、生命の伝達手段として遺伝子を持っています。遺伝子は両親から子孫へ生命を伝達する、いわば生命の設計図といえます。その設計図に従って子孫は作られるので、当然、子孫は先祖のかたちを引き継いでいます。遺伝子が生命の伝達手段であることは、人に限りません。生き物はすべて、生命を伝達します。生命を伝達する、そのことこそが「生き物」であることの定義かも知れません。一方で、私たち人は「文化」というものも持っています。そして、この文化を後世へと引き継ぎます。文化が生命と違っているのは、生命がたとえば両親から子どもへと一方向性に引き継がれるのに対して、文化は子どもから両親へ、あるいは子どもから兄弟へ、さらには隣の家の子どもへも伝達することができることです。この「文化」というものは、生命と違って、人だけが有する特権でもあります。「生命」のみならず「文化」を持ってこそその人である、と言い換えてもいいでしょう。そして、生命

の単位が遺伝子であるなら、文化の単位は言葉と言えます。言葉をつなぎ合わせたものが本（生命で言えば染色体）であり、それを保管する場所が図書館（生命なら細胞）にあたります。図書館は、



過去から現在まで、あらゆる人種、年齢、性別の人々が、その短い人生の間に、文化を引き継ぐ手段として設立したものと考えられます。ひとりの人の短い一生は、一方で遺伝子として次世代に受け継がれ、他方では、言葉として生きていくことができるのです。

みなさんのための図書館

医学分館は、大英博物館図書館や国立国会図書館から見れば小さな図書館ですが、文化は国を超えてつながっており、これらの図書館とも図書館同士でつながっています。人の知の遺産である「言葉」、そして「文化」を詰め込んだ図書館へ、みなさんもぜひお出でになってみてください。そこにある静けさと、特殊な雰囲気を味わっていただければ、きっと図書館を好きになっていただけるものと思います。図書館は知恵の宝庫です。しかし、図書館に決まったメニューはありません。あとは皆さんが、お好きなように利用なさってください。

著書紹介



- 画像で見る産科アトラス / 増崎英明著. メディカ出版, 2012 [医学分館 495.5 | Ma69]
- 密室 / 増崎英明著. 図書出版木星舎, 2012 [中央館, 医学分館 914.6 | Ma69]
- 臨床産科超音波診断 / 増崎英明著. 改訂2版. メディカ出版, 2009 [中央館, 医学分館 495.5 | Ma69]

医学分館の耐震改修について

中央図書館が今年の4月にリニューアルしたばかりですが、坂本地区にある医学分館も今年8月から耐震改修と書庫の増築が始まります(来年2月末竣工)。

工事に伴い、医学分館は6月7日(金)から約1年間休館します。休館期間中は7月1日(月)から医学部キャンパス内のポンペ会館1階に臨時図書室を、2階に事務室をオープンし、一部の図書やDVDの閲覧・貸出、雑誌の利用、文献複写の申込、教室所蔵の図書や雑誌の受け渡しなどのサービスを行います。

臨時図書室に移設しない図書(書庫所在の図書、利用頻度の少ない図書)や雑誌バックナ

ンバーは、約1年間ご利用いただけませんのでご了承ください。

期間中も電子ジャーナルや電子ブック・データベース・Webからの文献複写申込は利用可能です。また中央図書館や経済学部分館はもちろん、医学共同図書室(病院10階)や保健学科図書室は従来通りご利用いただけます。

今回の増改築では安全性のアップだけでなく、利用者の皆さんが使いやすい図書館になるように内部を全面的に改装する予定です。

新しい医学分館のオープン予定は平成26年6月です。それまでご不便をおかけしますがどうぞご理解とご協力をお願いいたします。

改修工事に伴うスケジュール

平成25年						平成26年							
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	<6/7~6/30 引越し作業による完全休館												
	医学臨時図書室開設(ポンペ会館1階)(H25/7/1~H26/5/2)												
							5/1~6/1 引越し作業による完全休館						
										6/2~ 新医学分館			

平成25年6月7日(金)~6月30日(日)

平成25年7月1日(月)~平成26年5月2日(金)*

平成26年5月1日(木)~6月1日(日)*

平成26年6月2日(月)*~

引越し作業による完全休館

臨時図書室開設(ポンペ会館1階)

引越し作業による完全休館

新医学分館開館

*は諸事情により変更することがございます。

新しい医学分館について

■ 学習のためのエリアを充実させます

- 閲覧座席を増設 ★
- グループ学習室の増設
- アクティブラーニング対応エリアの設置

■ より快適な医学分館を目指します

- 館内に飲食ができるコーナーを設置 ★
- 2階に女子トイレを設置 ★

■ 資料へのアクセスを改善します

- 学術雑誌バックナンバーを書庫に集約
- 近代医学史料展示室をリニューアル



★は学生懇談会などで要望があったものです。

医学臨時図書室(ポンペ会館1階)

サービス期間

平成25年7月1日(月)～平成26年5月2日(金)

場 所

ポンペ会館1階(医学部キャンパス内)

設備等

閲覧席6席(学生・教職員優先),
学生用パソコン5台,
コピー機(公費用、私費用各1台)

貸出期間・冊数

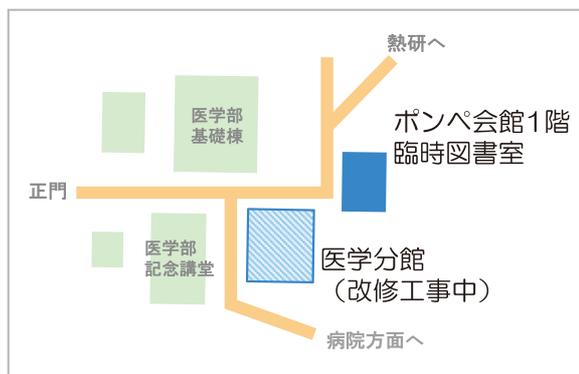
10冊(教職員、学部学生、大学院生)
3冊(学外者、卒業生、放送大学学生)

利用可能資料

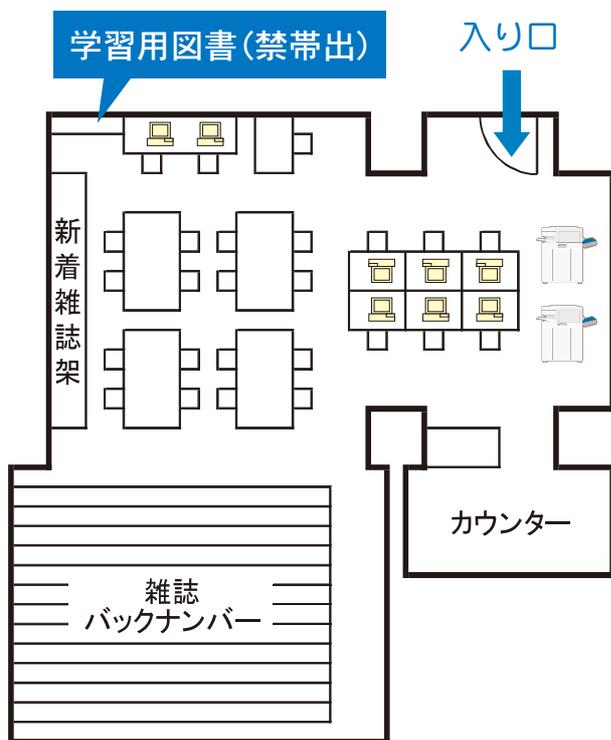
図書約3,000冊(シラバス掲載図書、国試関係、
語学、参考図書など),
新着雑誌約100タイトル, DVD約500本
OPACでは「**医学臨時図書室**」と表示されます。

サービス

- 文献複写・相互貸借の依頼
- 中央図書館・経済学部分館からの配送資料の貸出、返却
- 参考調査(利用可能資料の範囲内)、データベース等利用案内
- 研究室図書・雑誌の受け渡し
(ポンペ会館2階の事務室で行います)



医学共同図書室(病院10階)学内者のみ



共同図書室案内図

利用時間

入室用ICカードをお持ちの方・・・
24時間利用可能
カードをお持ちでない方は有人サービス時間帯(平日 10:30-16:00)にご来室ください。

場 所

長崎大学病院 外来棟10階

設備等

閲覧席17席, 学生用パソコン8台,
コピー機(公費用、私費用各1台)

利用可能資料

図書約67冊(貸出はできません),
学術雑誌約490タイトル(医学臨床系、歯学系)

有人サービス

- 文献複写・相互貸借の依頼
- 参考調査、データベース利用案内
- 研究室雑誌の受け渡し

附属図書館改修完成記念式典を挙行

中央図書館の耐震改修工事の竣工を記念して、平成25年3月21日（木）に記念式典を行いました。当日は、県内外の大学図書館や公共図書館関係者を含め約70名の出席がありました。

式典では、片峰茂長崎大学長、姫野順一附属図書館長の挨拶に続き、大久保潔重参議院議員、長澤公洋文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室長から祝辞がありました。

引き続き、教育学部の加納暁子准教授と学生による四重奏の記念演奏があり、ポンキエリ作曲『歌劇「ジョコンダ」より「時の踊り」』他3曲の演奏が行われました。

その後、玄関前でテープカットが行われ、姫野館長の案内で館内の見学を実施しました。

改修後の中央図書館は、地上3階、地下1階の建物で、総面積は改修前と変わりませんが、事務スペースを縮小し、利用者スペースを拡張することにより、閲覧席を648席から756席へと約100席増加させています。また、バリアフリーに配慮して、エントランスを2階から1階に移すとともに、ガラス張りの外観、白と木目を基調とした内装で、以前に比べると広く明るく感じられる空間となりました。さらに、1階にラーニングコモンズを新設したことから、グループワーク（討議・協同学習の場）、パーソナルワーク（個人学習の場）、サイレント（静寂な思索の場）のゾーニングが可能となり、利用者の多様な学習形態に対応できるようになりました。

資料の収容能力は変わりませんが、資料保存に適切な温湿度管理のために、書庫の空調設備と外壁の断熱機能の強化を図っていることも大きな特徴です。

長崎大学附属図書館は、今後も長崎大学の学習・研究支援の場として、より一層機能を高めていく予定です。



教育学部 加納暁子准教授らによる記念演奏



左から、田村耕平さん（学生）、姫野附属図書館長、長澤文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室長、片峰長崎大学長、大久保参議院議員、池田美佐子さん（学生）

改修前の図書館を後世に残すために電子書籍で写真集を発行

附属図書館は、昭和24年5月31日に新制大学の発足と同時に経済学部構内に設置されました。その後、転々と場所を移し、昭和46年2月に現在の文教キャンパスに中央図書館が竣工。42年目となる平成24年に耐震補強を伴う改修工事を実施し、平成25年1月に竣工いたしました。



中央図書館の改修工事前の様子を記録として残すため、電子書籍で写真集を作成しました。

この写真集は、図書館利用者の皆さんから思い出の場所を撮影し応募していただいた写真174枚を、図書館の若手職員が編集を行い、改修工事中の平成24年6月に発行しました。

詳細は、図書館HPをご覧ください。

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/about/photo/index.htm>

中央図書館ギャラリーにてリニューアルオープン企画展示を開催(4/1~5/6)

『長崎大航海時代(現代美術2013)』展

中央図書館のリニューアルオープンを記念して、4月1日(月)~5月6日(月)の期間、1階ギャラリーにて、長崎大学 井川惺亮名誉教授らによる現代アートの展示会を開催いたしました。3月21日(木)の開館記念式典当日の館内見学会では、井川名誉教授が参加者に作品のコンセプト等を紹介される場面も見られました。



* 中央図書館では、長崎大学の関係者による文化的なギャラリー展示を募集しております。詳細は、利用者サービス担当(ssabisu@lb.nagasaki-u.ac.jp)までお問い合わせください。

あなたはもう読みましたか？ 片峰学長おすすめの本



図書館報118号で第一報をお伝えしましたが、片峰学長おすすめの本を、現在中央図書館2階閲覧室の学長推薦図書コーナーにて展示しています。

2011年に続き2回目となる今回は、原子力や教育問題など今話題の分野が多く揃っているほか、長崎大学に関連の深い方や、長崎大学の教員の著書も含まれています。

注目度が大変高いため、常に貸出中になっている人気の図書もありますが、ぜひ一度覗いてみてくださいね。

そして今回は、推薦図書10タイトル全てについて、片峰学長ご本人に推薦コラムを書いていただきましたので、コラムも必読です！

今号では、長崎大学医学部産婦人科学教室の教授であり、4月から附属図書館医学分館長に就任された増崎英明先生の著作「密室」についての推薦コラムをご紹介します。

その他の推薦コラムは、図書館のホームページで公開していますので、ぜひお読みください。
<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/tenji/president2013.html>

「密室」/ 増崎英明(木星舎)

「密室」というタイトルを最初に目にすれば、ミステリー小説かと思うが、そうではない。産婦人科医である著者にとっての「密室」は、胎児が潜む母親の子宮のイマージュであるらしい。生命の発生の神秘に立ち入ろうとする科学者が、徒然に綴った断章からなる極上のサイエンス・エッセー集である。

ちなみに著者は、現役の長崎大学医学部教授である。このキャンパスにこれほどの文章家が居たとは、驚きでもあり喜びでもある。

図書館ニュースレター「図ってって」 1st Anniversary

図書館報「和華蘭の窓」の学生向けバージョンとして、よりタイムリーなお知らせを発信するために2012年6月に創刊した長崎大学附属図書館ニュースレター「図ってって」が、めでたく**1周年**を迎えました。



とってっての「と」には、漢字の「図」を当てていて、図書館の旬なニュースをお届けすると共に、皆さんに気軽に取って行って欲しいという思いを込めて、長崎の方言を用いたこのネーミングになりました。

と
図ってって



このロゴ
が目印♪

図書館内のほか、学部のリフレッシュルームなどにも置いてありますので、ぜひ気軽にとってってくださいね。

毎月上旬に
発行中♪

NAOSITE (長崎大学学術研究成果リポジトリ)

登録論文数 **25,000** 件を突破



リポジトリとは、機関所属の研究者の研究成果を、インターネットを通じて、誰にでも無料で公開することを目的とする「電子的書庫」です。長崎大学の機関リポジトリの名前がNAOSITE(なおさいと)です。

そのNAOSITEの登録件数が、平成25年5月16日に、25,000件を突破しました。全世界からのダウンロード件数も、平成24年度は約217万回。これは、一日あたりに換算すると5,950ダウンロードになります。平成19年の公開からの累計ダウンロード数も910万回を超えました。

アクセスは **NAOSITE** **検索** から！

■NAOSITEに、先生方の研究成果をご提供ください。

メールで、iss@lb.nagasaki-u.ac.jp(電話:819-2195)までお送りください。図書館で著作権等を調査した上で、公開させていただきます。

■文献情報データベースScopusに収録された論文のリポジトリ登録の可否を調査した上で、先生方に登録のお願いメールを差し上げています。ご協力をお願いいたします。

(学術コンテンツ担当)

主要な

自宅や出張先などの学外から、電子ジャーナルやデータベースが利用できるようになりました

平成25年4月より、長崎大学で契約している電子ジャーナルやデータベース、電子ブックの多くが、自宅や出張先などの学外からも、学内と同じ環境で利用できるようになりました。

-  事前の申請は必要ありません
-  図書館で利用者IDの発行は行いません
-  学内者であれば、どなたでも利用可能です
(但し、長大IDをお持ちの方に限ります)

アクセス方法はとっても簡単♪
下記ページから、長大IDでログインするだけです。

<http://ezproxy.lb.nagasaki-u.ac.jp/login>

これに伴い、従来のリモートアクセスIDの申請は廃止しました。発行済のIDは引き続きご利用いただけますが、ログインは、必ず上記のページより行ってください。

利用可能な電子リソース

- ・ScienceDirect
- ・Scopus
- ・SpringerLink
- ・EBSCOhost
- ・Wiley
- ・ProQuest
- ・PNAS
- ・JAMA
- ・Science
- ・CiNii
- ・JCR

など

オランダ(ライデン)・フランス(パリ)出張報告

学術情報管理課図書情報担当 浦さやか

平成24年12月9日(日)～16日(日)に、姫野順一館長(当時)、学術情報部の西村・浦の3名でオランダのライデン大学図書館とフランスのギメ東洋美術館を訪問しました。当館では、日本古写真の世界的な拠点となる「グローバル・メタデータ・データベース」の構築(※)に取り組んでおり、今回の出張は、データベース構築協力館との意見交換が主な目的でした。また、訪問館および近隣の図書館・博物館の見学も行いましたので、本報告では訪れた各施設について、簡単にご紹介します。

(※)詳細については図書館報117号をご参照ください。

◆◆ オランダ(ライデン) ◆◆

ライデン大学では、中央図書館とアジア学科の図書室を見学しました。中央図書館所蔵の貴重資料(古写真)を見せていただきましたが、写真はサイズ毎に1. 2. 3と分類され、その中でさらに撮影者毎に分類されていました。また、ダゲレオタイプの資料やステレオ写真も多数所蔵しているそうです。アジア学科図書室は韓国・中国・日本の資料を扱っており、各国の書籍だけではなく、浮世絵のポスターや書などもありました。



アジア学科図書室：日本語の資料も多数所蔵している

ライデン市内にあるブルハーフェ博物館は、医学と天文学を中心とした科学史博物館です。ここには、本学医学部で所蔵するキュ

ンストレーキ(紙製の人体解剖模型)と同型のものがあるとのこと、立ち寄りしました。残念ながら展示されていたのは“女性型”のみで同型のものはありませんでしたが、綺麗に彩色された、大変状態の良いものでした。



展示されていた
キュンストレーキ

◆◆ フランス(パリ) ◆◆

ギメ東洋美術館では、図書室を見学するとともに、古写真関連の貴重資料も拝見しました。その中には、珍しい「ちりめん本」の古写真アルバム(小川一眞撮影のもの)があり、とても興味深いものでした。



ギメ東洋美術館

その後、古写真関連資料を調査する為、フランス国立図書館のフランソワ・ミッテラン館を訪れました。閲覧室は分類毎に分かれ、各部屋には職員が常駐していました。館内にはカフェのほか軽食と飲み物の自動販売機が設置されており、ロビーの椅子に座って食事や会話をする利用者の姿も印象的でした。

最後に見学した総合文化施設ポンピドゥーセンター内の公共図書館は、分類毎に色分けされた館内がとても色鮮やかで、開放的な閲覧室はとても居心地がよさそうでした。

この他にも日本や長崎大学に縁ある施設を訪れる機会に恵まれ、とても充実した出張となりました。最後になりましたが、今回、このような機会を与えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。



「まちなかと居留地の古写真展」に古写真パネルを出張展示



附属図書館が所蔵する幕末・明治期の日本古写真コレクションの展示パネルを、地域貢献の一環として、希望する団体に貸し出しています。今回、東山手甲十三番館で展示を行っているNPO法人「長崎の風」の方に展示会の様子をお知らせいただきました。

『甦る長崎のまちなかと居留地に生きた人々』

私達は、平成23年10月から、長崎市と協働の社会実験として、観光名所の東山手洋館群のひとつ、東山手甲十三番館（国登録有形文化財）の運営に取り組んでいます。

その中で昨年の9月からは、文化財を活用する試みとして、「まちなかと居留地の古写真展」を館内に常設し、長崎大学附属図書館所蔵のパネルを観光客だけでなく、市民の皆さんにも無料で一般公開しています。これまでに120点を展示し、約34,000人のお客さまをお迎えしました。パネルをご覧になったお客さまは、居留地界隈の洋館群、賑わいの濱町、中島川の石橋群、茂木、寺町などの古写真にそれぞれの思い出を語ってくださいました。「この洋館に住んでいたことがあるんですよ」、「この石橋の下で遊んでいました」、「茂木のホテルで食事をしたのを思い出しました」等々、大発見をしたかのようにお顔が輝き、食い入るように古写真と向き合っているお客さまのお姿が常設への思いに勇気を与えています。



県外からお越しの一人旅のお客さまからのメッセージ、「偶然入ったここでボードインに逢えるなんて感激、長崎は素晴らしい」

NPO法人「長崎の風」代表 黒田 雄彦



長崎大学の先生方が書かれた本をいただきました

(平成25年3月1日 ~ 平成25年4月30日分)

伊藤 秀三 名誉教授【環境科学部】

- Plant research for conservation in Galapagos : report for the years 1998-2003 and challenges for the future / by The Botany Department, Charles Darwin Research Station - Charles Darwin Foundation, [200-]

[中央図書館 472.615 | C35 1561142]

古谷 吉男 名誉教授【教育学部】

- 生活の中の技能 : その習熟度 : 調査報告書 / 古谷吉男, 宮本隆編著 - 長崎大学教育学部「ものづくりと教育」ゼミナール, 2012.2

[中央図書館 370.4 | F95 1561870ほか]

増崎 英明 教授【医歯薬学総合研究科】

- 密室 : 閉ざされた世界、その探求、そして脱出 / 増崎英明著 - 図書出版木星舎, 2012.9

[医学分館 914.6 | Ma69 2146317ほか]

勝俣 隆 教授【教育学部】

- 異界と常世 = L'autre monde et l'au-delà / 篠田知和基編 - 楽楽書院, 2013.3

[中央図書館 164 | Sh66 1561878]

星野 光秀 教授【経済学部】

- 統計でみる日本2013 / 日本統計協会編 - 日本統計協会, 2013

[経済学部分館 351 | N71 | 2013 3510161]

たくさんのご著作のご惠贈、ありがとうございました。

前期試験/夏季休業期における 開館時間・休館日・長期貸出のお知らせ



最新の休館日・開館時間は右の携帯サイトでも確認できます。URLを登録しておくとう便利です。



試験期間中の開館時間 (土日祝日は夜8時まで延長)

	期 間	平日開館時間	土日祝日開館時間
中央図書館	7月13日(土)～8月11日(日)	8:30～22:00	10:00～20:00
医学分館*	7月13日(土)～8月11日(日)	8:30～22:00	10:00～20:00
経済学部分館	7月13日(土)～8月 4日(日)	8:30～22:15	10:00～20:00

(平日は変更ありません。延長期間は、各学部の試験期間に対応しています)

休館日(全館) : 8月14日(水)～8月18日(日)

夏季休業期における開館時間

	期 間	平日開館時間	土日祝日開館時間
中央図書館	8月19日(月)～9月30日(月)	8:30～17:00	10:00～17:00
医学分館*	夏季休業中も通常通り	8:30～22:00	10:00～18:30
経済学部分館	8月 7日(水)～9月29日(日)	8:30～20:00	10:00～17:00

* 医学分館の改修工事に伴い、臨時図書室(ボンベ会館1階)で図書館サービスを行ないます。



夏季長期貸出：貸出期間と返却日

対象資料 中央図書館、経済学部分館の所蔵資料
 貸出期間 7月24日(水)～9月23日(月)
 返却期限 10月7日(月)

* 医学分館所蔵の資料は対象外です。



試験に必要な図書や、夏季休業中に読みたい本をリクエストしましょう！

和華蘭の窓	長崎大学附属図書館報 No.119 2013年(平成25年)6月30日発行
編集責任者	長崎大学附属図書館広報WG総合責任者 学術情報部学術情報サービス課長 小川 稔
館報編集担当	山本知美・浦さやか・松田 綾・松村悠子・後藤史彦
発行	長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町 1-14 Tel(095)819-2200(参考調査担当)
	附属図書館ホームページアドレス http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/
	図書館報アドレス http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/about/kanpo/